

キラリ通信



令和7年 10月1日発行

全校版

特別支援教室七小キラリ

拠点校 第七小学校長 島村 雄次郎

巡回校 第三小学校長 田村 聡

巡回校 第六小学校長 田中 光晴

特別支援教室キラリの紹介

東京都には、特別支援教室が全小中学校に設置されています。本教室は、

- ・自分の得意や苦手を理解し、自分に合った学習方法を身に付けるための活動
- ・相手の気持ちを理解したり、自分の感じたことを言葉で表現したりする活動
- ・初めての物事への不安に対して対処法を考える活動
- ・集中力を高めたり、気持ちを切り替えて行動したりする活動

などを行っています。キラリについてお聞きしたいこと等ありましたら、担任、特別支援コーディネーター、管理職にお声掛けください。

キラリの日

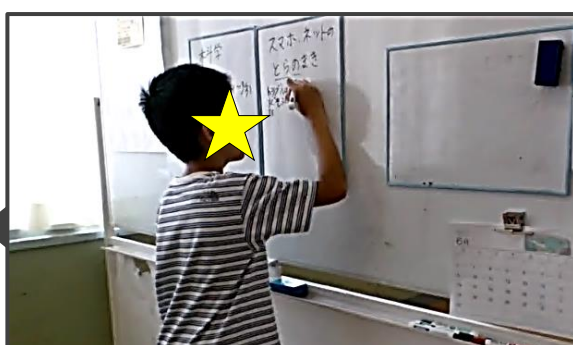
キラリでは、週に1、2時間キラリ教室に通い、自分に合った活動を行っています。1時間で、いくつかの活動を組み合わせています。今回は、とある日のキラリの日をご紹介します。



1 時 目

【ビジョントレーニング】

目の動きをコントロールする練習、焦点を合わせる練習などを行い、目で見た情報を処理する力を向上させる「見る力」のトレーニングです。



【何て書いてあったかな】

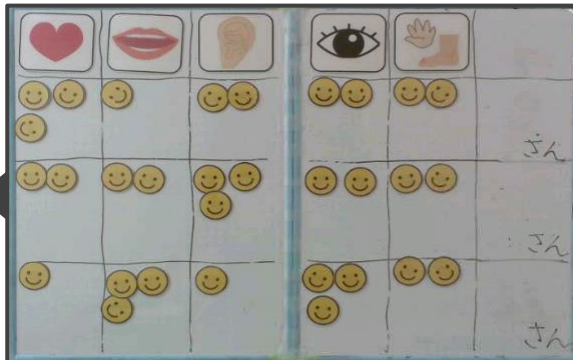
必要な情報のみを選択して指示を聞き、正しく行動に移したり、結果を報告したりする練習です。今回は廊下に貼ってあるポスターを見て、指示された情報を覚えました。



2 時 目

【上手にヘルプを出そう】

ロールプレイングを見ながら、上手なヘルプの出し方について考えました。「手を挙げて『教えてください。』と言う。」「目線で合図を送る。」など児童に合ったヘルプの方法を練習しました。



【頑張リボード】

児童の良い行動が見られた時は、その場ですぐに評価します。「相手を見て話を聞いていた」「自分の意見を言えた」「言われてすぐに行動できた」など、児童の頑張リが視覚的にわかるようにしています。



【ICT を活用した自己理解の活動】

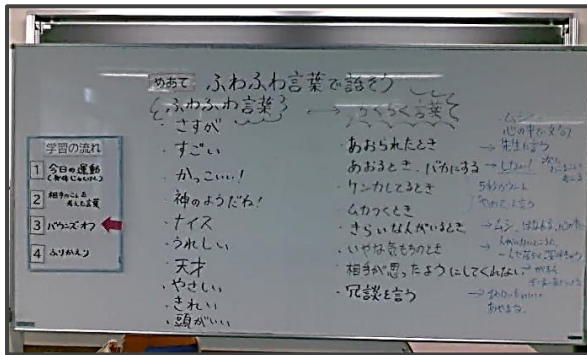
自分の得意なことや苦手なことを考えたり、自分と周りの人々の関わりに目を向けたりして、自分のことを知る活動です。タブレットを活用し、文字を書く負担を軽減しています。

3 時目



【生活の振り返り】

目標を決めてカレンダーに印をつけることで、自分の日々の頑張りが見てわかるようにしています。先の予定を確認して、不安なことを相談したり、出来事を思い出して話したりする活動も行います。



【ふわふわ言葉を話そう】

あたたかく肯定的な「ふわふわ言葉」と、相手を嫌な気持ちにさせる「ちくちく言葉」について考えました。つい「ちくちく言葉」を言ってしまう場面で、どのような言葉や行動に代えるといいか考えました。

4 時目



【ふわふわ言葉を使おう】

みんなで「ふわふわ言葉」「ちくちく言葉」について考えた後、チームに分かれてゲームを行いました。盛り上がる場面でも、仲間や相手に「ふわふわ言葉」を使うよう意識することができました。



【綱引き】

タオルや紐を使って引っ張り合う運動を通して、体を支える背筋や体幹を鍛えたり、ロープを強く握る手指の力を高めたりしました。

5 時目



【バランスクッション×まねっこ体操】

体のバランスを取りながら平衡感覚を養ったり、体幹を鍛えたりしました。

